

卒業生は今

真亀保育園保育士 下藤 聖子(初教22期生)

文教を卒業して、もうすへっす月が過ぎようとしています。初教の先生方、学生のみならず、お元気ですか!? 私は今、広島市安佐北区にある真亀保育園で保育士として働いています。仕事はとっても楽しく、充実した毎日を送っています。と言いたところですが、現実は大きく違います。学生と社会人のギャップに悩んだり、子どもたちとの関わり方で悩んだり、体力的な不安に悩んだり、本当に悩みや不安の多い、辛い毎日なのです。この3ヶ月間で何度、「もう辞めたい!!」と思ったことでしょうか。それでもなんとか続けていられるのは、「せんせー



い!!」と駆け寄り、可愛らしい子どもたちがいるからだと思います。私が担任している3歳児組は、1歳児15人です。中には深刻な家庭の問題を背負っている子どももいます。未だに私に慣れない「いやいや」をくり返す子どももいます。色々な子どもがいますが、やっぱり子どもは可愛いものです。張り切って大好きなアンパンマン体操に取り組み、気持ち良さそうにお昼寝をする姿、フオークと手掴みでワイルドに食事をする姿

等、本当にどの子どもでも可愛らしく愛らしています。子どもたちは皆、小さいながらも毎日「日を精一杯生きているんだな」と、毎日「頑張ろう」と考えさせられています。そんな子どもたちのために、これから研修や自己学習等を通して保育の力を高めたいと思っています。最後に、私は、辛くてどうしようもない時、文教で出会うた友だちを思い出しています。きっとみんな今頃必死に働いているはず!! そう思うと、私も頑張らなわけにはいきません。またある時には、文教の先生方を思い出します。きと変わらず私を応援



「根っこ」を「考」

長俊 学科 金 俊 軒

休みにはよく散歩をする。かかっつづの医者に勧められたところもあるが自分の意思でもある。場所は近くの公園である。午前中1時間、午後1時間歩、実に気持ちがいい身体にもよい。散歩道は木々に囲まれていて空気も美しい。せむ、皆さんにも散歩をお勧めしたい。

しかし、基礎とは、基本とは、と問われると曖昧な返答が返ってくる。私は思う。基礎とは木の根っこ部分である。それは素質であり、態度であり、意欲である。いわば、目に見えない学力の深層の部分である。この深層を鍛えてこそ人間は自らの力で成長していくのではなからうか。自分と自分がかけがえない素質に磨きをかける。強靱な態度を鍛える。好奇心に溢れる意欲を育てる。このことが自分らしき生き方の基礎となるのである。木の根っこがそうであるように...。鍛えられた根っこからは強い幹(思考力・創造力・操作力)が育ち、強い幹からは美しい枝葉(知識・技能)が広がっていき、びびり、最近の子どものうちを見て、このように、なことを考えている昨今である。



してくれている!! そう思うと、やっぱり頑張らないわけにはいきません。卒業した今も、文教で出会うた皆さんの人たちに支えられて



5月末のある晴れた日、広島経済大学にお勤めの倉田侃司先生を私たち(山田悦子14期生・河村裕子16期生)が訪ねました。先生の懐かしい笑顔と美しい景色が出迎えてくださいました。先生は、広島経済大学が力を注いでいる「興動館教育プログラム」にゼロから関わっておられ、授業は主に「人間関係論」などを担当されています。

●授業のスタイル
先生といえは、時間厳守です。卒業生のみならず、教室のドアノブ(写真)を覚えておきますか? 現在は使われていませんが、研究室に飾ってあったものを撮影させていただきました。先生の授業スタイルは、以前とは少し変わらなれそうですが、根本にある「精神」は今も変わりありません。

特別企画

あの先生は今!

~倉田侃司先生~

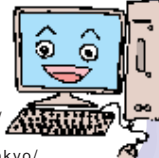


学生への対応策をとられているそうです。ただ注意をするだけでなく、現状を把握され、改善を試み、柔軟に対応される先生の姿勢は素晴らしいと思います。
●文教時代の忘れられないエピソード
「あるある! 台風19号(平成3年)があつたよ!」と昔を懐かしむように先生は話してくれました。この台風に、体育館の屋根や窓ガラスなどが全部吹き飛ばされたそうです。その片付けに付いて、「先生たちが自分から片付けに来るんよ!」と目を細める先生。当時のビデオテープも大事に研究室に保管されていました。思わず、「学生が大学を好きなことが分かりますね」と尋ねると、「彼女たちも1年生の時からおつた話ではない」と先生。先生は当時の学生たちに、初めて大学に来たときの印象を尋ねられたことがあるそうです。すると学生たちは、「広島市だと思つて来た、横川から電車が北へ北へと行つて、とうとう着いたところが無人駅です。そこで降りて寒い風が吹く川土手をずっと歩いて、「もうこの大学には二度と行きたくない」と思つた。」と答えたそうです。そのエピソードを聞いて、通学は大変かも知れないけれど、自らすすんで行動する思いやりのある学生に育つ場が、広島文教女子大学であるのだと感じました。

広島文教女子大学教育学会のホームページができました!

岡先生のご尽力と、学生運営委員の田口さん、谷さんの協力により、念願の学会ホームページができました。内容は、学会の概要、規約、学会誌などについて知るだけでなく、なんとわれらが初教かわらばんのバックナンバーも閲覧できます。インフォメーションのコーナーでは、初等教育学科関連の最新ニュースも掲載されています。是非、一度は覗いてみてください。下記の手順、あるいは URL を使って是非一度アクセスしてみてください!!!

- 本学ホームページ (TOPページ) 大学 初等教育学科 学科オリジナルページはこちら
- 広島文教女子大学HP <http://www.h-bunkyo.ac.jp/koho/>
- 広島文教女子大学教育学会HP <http://www.letterpress.co.jp/bunkyo/>



●卒業生・在学生にひと言メッセージ
「パソコンや携帯電話を依存しがちだが、人間を相手にしてほしい。喋ることができる、ええ、んよ。そして教職を目指すなら、文部科学省が言うたりやたりすることをそのまま受け入れず、まず疑ってかかるくらい意識を持つ方がよい。」と力説のメッセージをいただきました。

最後になりましたが、倉田先生、緊張すぎてキャンパス内で迷子になった私たちを温かく迎え、おいしいお茶と楽しい時間をありがたそうに過ごさせてくださったことよね。」と先生、取材時にいただいた、おふくろのいる風景。熱年夫婦のバス旅行、という著書をも楽しく読ませていただきました。